



内閣官房 地方創生に資する金融機関等の「特徴的な取組事例」
に関する大臣表彰の受賞について

今般、上田信用金庫（理事長 小池文彦）が主体的に取組んだ「上田市公共交通キャッシュレス化支援事例」が、内閣官房まち・ひと・しごと創生本部より、令和3年度地方創生に資する金融機関等の「特徴的な取組事例」として認定を受け、内閣府特命担当大臣（地方創生担当）の表彰を受けましたのでお知らせします。

記

1. 表彰事例について

(1) 表彰事例タイトル

『上田市公共交通キャッシュレス化プロジェクト』をはじめとする上田市スマートシティ化計画の推進支援

(2) 取組の概要

ローコストでキャッシュレス化を実現する「チケットQR」を活用し、上田市内の公共交通のキャッシュレス化を推進支援した。当システムは、上田市スマートシティ化推進計画の中核技術として、公共交通だけでなく商業振興にも広がりを見せている。

2. 内閣官房 地方創生に資する金融機関等の「特徴的な取組事例」とは

内閣官房まち・ひと・しごと創生本部が、全国の金融機関等の地方創生に資する取組のうち、地方公共団体と連携している先駆性のある事例を「特徴的な取組事例」として認定し、表彰する制度。

■ 内閣官房 まち・ひと・しごと創生本部 地方が成長する活力を取り戻し、人口減少を克服する。

https://www.chisou.go.jp/sousei/pdf/2203_research_kinyu1.pdf

以上

● 本件に関するお問い合わせ ●

上田信用金庫 〒386-0014 長野県上田市材木町 1-17-12
TEL (0268)22-6260 FAX (0268)23-7039 担当： 業務部 宮島
地域事業部 石原

●. 『上田市公共交通キャッシュレス化プロジェクト』をはじめとする上田市スマートシティ化計画の推進支援 (上田信用金庫)

1. 取組の概要

- ・ローコストでのキャッシュレス化を実現するシステム「チケットQR」を活用し、上田市内の地方公共交通のキャッシュレス化を推進。
- ・当システムは、上田市スマートシティ化推進計画の中核技術として、公共交通だけでなく商業振興へも広がりを見せている。

2. 取組を始めるに至った経緯、動機等

- ・システムを開発する(有)和晃から当社開発の独自QRコード決済システムの活用方法について相談があり、当社や当システムについて事業性評価を実施したところ、特許を取得した高度な技術であり、導入におけるコストも抑えられることから、当地域での有効活用が可能と判断。地方創生に向けた連携協定を締結している上田市が目指すスマートシティ化計画に活用できると考え、担当部署に取り次いだところ、興味を示される。
- ・一方、地域公共交通(鉄道・バス等)では、費用面からキャッシュレス決済を導入できず、事務効率化や顧客利便性の向上に課題を抱えていた。

3. 具体的な取組内容

- ・2020年9月、当金庫をコアメンバーとする「上田市公共交通キャッシュレス化プロジェクト」を立ち上げる。
- ・2020年10月から上田バス/菅平高原線にて実証実験がスタート。その後、2021年5月から上田電鉄/別所線でも開始され、システム上の問題がないことを確認。2021年10月からは市内を走る全てのバスに当システムが搭載された。
- ・2021年12月からは消費喚起事業「がんばろう上田！」が実施された。市内の飲食店・小売店などでチケットQRを使用して買い物をすると割引(プレミアム率20%)が受けられるキャンペーンであり、事業者へのプレミアム分の還元については、上田市から委託された当金庫が一括で請け負う。

4. 実施にあたり工夫した点(金融機関の役割・推進体制面・PDCAサイクル面等)

- ・システム開発会社や交通事業者、市など関係者が多数となっているため、当金庫がハブの役割を担い、密な情報共有に努めている。
- ・全ての利害関係者にとって「三方よし」となるように、特に交通事業者に対しては補助金の利用や導入のサポート等について伴走型支援を行った。
- ・システムやハード導入費用等の初期費用は、他社サービスと比較して格安で、県の補助金を利用することで交通事業者の負担は発生していない。維持費用は、システム利用料が無く、通信料及び決済手数料等が少額で済むことから、交通事業者の費用負担は非常に軽減されている。
- ・システム開発会社(有)和晃は高度な技術を有するものの、運営面ではノウハウ・マンパワーが不足することが考えられる。本システムの社会実装に向けて設立した子会社(株)Ticket QRの運営をサポートするなど協働して体制づくりを進めている。
- ・金融機関の役割はシステムの導入支援だけでなく、その先の商業・観光業との連携にあるため、まずは社会実装に向けて周知・普及に努めている。

5. 取組の成果(取組中の場合は目標値・KPI等)

- ・2021年10月から市内の主要公共交通に一挙導入されたため、市民への周知が進み、2022年からはタクシー会社への導入も検討されている。
- ・2021年12月から実施されている消費喚起事業「がんばろう上田！」については、半月でダウンロード2万件(上田市の人口:約15万4千人)、事業者に対して2,000万円のプレミアム分が還元されるなど、地元経済に貢献できている。

6. スキーム図等

チケットQRの仕組み



- ・全国初の変動制運賃でのQRコード決済
- ・車両・改札に外付け（簡単・低コスト）
- ・利用者はスマートフォンのアプリにより決済（クレジットカード・各種電子マネーと紐づけ可能）
- ・GPS搭載のため、バス・電車の位置をリアルタイムで把握できる
- ・利用データは事業者へ還元され、路線見直しなどに活用できる



上田電鉄にて「チケットQR」を利用する乗客



「上田市公共交通キャッシュレス化プロジェクト」会議の様子

2024年
社会実装

（商業・観光分野との連携や近隣市町村への展開も視野）

2021年10月
市内を走る全てのバスに
システムを導入

2021年12月
消費喚起事業「がんばろう上田！」実施



2021年5月
上田電鉄/別所線で
実証実験がスタート



2021年3月
(株)Ticket QR設立

2020年10月
上田バス/菅平高原線で実証実験がスタート

2020年9月
上田市公共交通キャッシュレス化プロジェクトが立ち上がる

上田市公共交通キャッシュレス化プロジェクト

上田市

上田商工会議所

(有)和晃

上田バス

上田電鉄

上田信用金庫

上記をコアメンバーとして発足。その後、JR上田駅、しなの鉄道、タクシー協会、JRバス関東、千曲バス、東信観光バスも会議に参加。